

精神保健福祉士受験資格

精神保健福祉士の受験資格を取得するにあたり本学が定めた学習カリキュラムに基づき規定の単位を修得した者は、卒業時に所定の申請手続きにより受験資格を取得できる。
履修科目は下表のとおりである。

区 分	授 業 科 目 名	単 位 (時 間)	必要単位(時間)数
必修科目	社会福祉原論Ⅰ	2	67 (390時間)
	社会福祉原論Ⅱ	2	
	福祉行財政論	2	
	医療福祉論	2	
	社会保障論Ⅰ	2	
	社会保障論Ⅱ	2	
	公的扶助論	2	
	地域福祉論	2	
	地域福祉方法論	2	
	福祉法学	2	
	ソーシャルワーク論	2	
	精神医学Ⅰ	2	
	精神医学Ⅱ	2	
	精神保健学Ⅰ	2	
	精神保健学Ⅱ	2	
	精神科リハビリテーション学Ⅰ	2	
	精神科リハビリテーション学Ⅱ	2	
	精神保健福祉論Ⅰ	2	
	精神保健福祉論Ⅱ	2	
	精神保健福祉論Ⅲ	2	
	精神保健福祉論Ⅳ	2	
	精神科ソーシャルワーク論Ⅰ	2	
	精神科ソーシャルワーク論Ⅱ	2	
	精神科ソーシャルワーク論Ⅲ	2	
	精神保健福祉援助演習Ⅰ ※3	2 (30時間)	
	精神保健福祉援助演習Ⅱ ※3	2 (30時間)	
	精神保健福祉援助演習Ⅲ ※3	2 (30時間)	
	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ ※3	2 (30時間)	
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ ※3	2 (30時間)		
精神保健福祉援助実習指導Ⅲ ※3	2 (30時間)		
精神保健福祉援助実習 ※4	7 (210時間)		
選択科目 ※1	社会学	2	2
	心理学	2	
	医学一般	2	
本学独自の開設科目	精神保健福祉現場体験 ※2	(2)	(2)
計			69(390時間) + (2)

※1 選択科目は3科目のうちから1つ(2単位)を履修すればよいが、試験では3科目すべてから出題されるので、3つとも修得しておくことが望ましい。

※2 「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」及び「精神保健福祉援助実習」の履修を希望するものは、原則として「精神保健福祉現場体験」を履修すること。

※3 「精神保健福祉援助演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」及び「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」については、「精神保健福祉援助実習」を履修する者に限り履修することができる。

※4 「精神保健福祉援助実習」については、原則として、3年次までに開講される受験資格指定科目のすべての単位を修得している者に限り履修することができる。